

## 道教研究におけるデジタル資源

ファブリツィオ・プレガディオ  
(スタンフォード大学、カリフォルニア)

佛教研究に比べ、道教研究のためのデジタル資料は現段階ではほとんど存在しないといってもよい。利用できるものは二、三のウェブサイトによって提供されている限られた資料にすぎない。たとえば、これらに含まれているものに、(部分的に英語訳された) 中国の百科事典、『道教大辞典』の英語版やいくつかの電子テキストがあるが、その質や信頼性はまちまちである。このような状況はしかしながら、中央研究院の李豊楙教授の指導のもと、道藏全體をデジタル化するプロジェクトが数年以内に完了した暁には、変化するはずである。

より小規模な進行中のプロジェクトとしては、私がしばらくの間攜わってきた、道教テキストについての書誌情報や画像情報を包含するデータベースがある(今回の会議でこれらのデータベースのサブセットをPDFファイルの形で配布する予定である)。このデータベースは限定的ではあるものの、文献資料に関する異なった性質のデータの収集とアクセスの容易さという点において、デジタル資料がもたらす潜在的可能性を示す一例である。このデータベースは、オンラインで利用可能な資料・概要・百科事典の項目などを簡単に収めることができるのである。

しかしながら、この領域における眞の進歩は、一次資料の信頼しうる電子版が利用可能となったときにはじめて達成される。道藏文献以外にも、内丹のような特定の伝統や、聖人傳のような特定の文学ジャンルを専門とする道教研究者にとって重要な資料は数多い。何人かの同僚たちとの準備的な議論に基づいて、私は道藏に収められていない主要道教文献の電子版製作の構想を提案する。佛教テキストのCBETA アーカイブは、有益なモデルを提供してくれるが、そのモデルにならってフォーマットされたひとつの「藏外」道教文献を提示したい。

私はさらに、電子テキストによって可能となる新たな多角的ツールの一例として、内丹に関する専門用語に焦点をあてた語彙データベースを紹介したい。このデータベースは、現在約2,500のレコードを持ち、それぞれのレコードは一次文献からの関連する文章の引用を含んでいる。このデータベースは個々の見出し項目を翻訳し、注釋を施し、それらを選択して辭書の形式で出力することを可能にするものである。

Fabrizio PREGADIO ファブリツィオ・プレガディオ

1957年生

スタンフォード大学宗教学部 Acting Associate Professor.

Ph.D. (ナポリ東洋大学)

*Great Clarity: Daoism and Alchemy in Early Medieval China* “The Notion of ‘Form’ and the Ways of Liberation in Daoism” *The Encyclopedia of Taoism* (editor) ほか多数